

平成20年 課題文作成コンペ

①タイトル

「子育て支援施設のあるコミュニティセンター」

②設計趣旨

この施設は子どもたちが集う太陽の子ホールを中心として成り立っている。

施設全体でホールの気配を感じることができるよう工夫しており、特に男女共同参画部門との関係性を重視している。

これは、子どもを預けた親がホールや広場にいる子どもたちを見守りながら安心して施設を利用し、意欲的に自己実現を図れるよう配慮したものである。

③感想

私たちはまず、子育て支援施設とは何か、この施設が果たすべき役割りは何なのかを改めて考えることから始めました。

集めた情報の中で、毎月お母さんたちのコミュニティーから発行される「お母さん大学新聞」という資料からヒントを得ました。

そこには”お母さんたちの夢”というテーマで、たくさんの思いが書かれています。

子育てに追われ、自分の時間などほとんど無いような日々の中でも、お母さんたちは自己実現を諦めたりはせず、驚くほどたくさんの夢を持っています。

また、子育て支援者の立場からは「子育てで大切なのは親が夢に向かって生きる姿を見せること。お母さん力を育ててほしい。

母親であることに喜びを感じ、その思いを発信し、出会い共感する場所をつくりたい。」という記事も掲載されています。

これらの内容から、私たちは改めて子育て支援施設の必要性を感じ、お母さんたちにとって本当に必要な施設を、自己実現を支援出来るような施設をつくろう、という思いでこの施設を設計しました。

このような手順を踏み、施設の必要性を感じながら設計することで、利用者のために少しでも快適な使い易い施設でありたいという思いを込めることが出来たように思います。

また、私たちは今回チームで参加させて頂きましたが、複数で取り組むことでそれぞれが持つ考え方、設計に対する姿勢を学び、それらを互いに補い合いながら進めていくことで、今の自分に足りないものを発見することが出来ました。

これはコンペに参加させて頂いたからこそ得ることが出来たもので、このような有意義な機会を頂いたことに感謝します。ありがとうございました。